

# 広島県経済の動向

2021年11月15日  
商工労働局

# 目 次

I	経済動向の概要	1
	1 国内経済の動向	
	2 広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
	1 鉄鋼	
	2 自動車	
	3 造船	
	4 一般機械	
	5 電気機械	
III	中小企業の動向	5
	1 概況	
	2 景況感・景況感の変化	
IV	企業倒産状況	6
	1 概況	
	2 業種別	
	3 原因別	
	4 今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	7
	1 県内の有効求人・求職の動向	
	2 県内の新規求人・求職の動向	
	3 県内の人員整理の状況	
	4 完全失業率の状況	

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

指 標	R3年		
	8月	9月	10月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている
輸出	緩やかな増加が続いている		増勢が鈍化している
生産	持ち直している	このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している	
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる		
個人消費	サービス支出を中心に弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
住宅建設	底堅い動きとなっている	このところ持ち直しの動きがみられる	
企業収益	感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している		

### (2) 先行き

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和3年10月15日公表）】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

指 標	R3年		
	7月	9月	10月
基調判断	下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある	持ち直しの動きが一服している	
輸出	自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しのペースが一段と鈍化している	
生産	自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しの動きが一服している	
設備投資	下げ止まっている	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	弱い動きがみられている	弱い動きがみられている	
個人消費	サービス消費を中心に下押し圧力が続いており、持ち直しが一服している	弱めの動きとなっている	
住宅投資	下げ止まっている	持ち直しつつある	

### (2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和3年11月1日公表）】

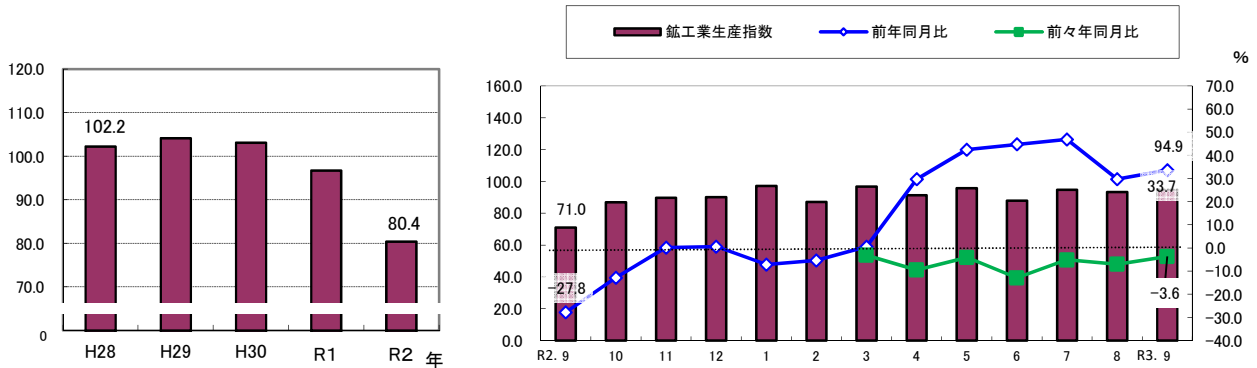
## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼(令和3年9月)

9月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は94.9で, 前年同月比で33.7%増加, 前々年同月比3.6%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

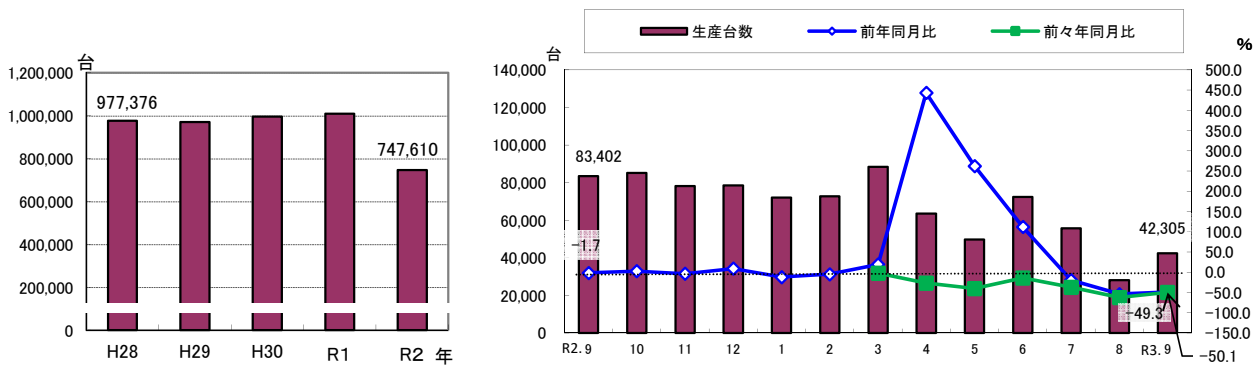


### 2 自動車(令和3年9月)

9月の国内生産台数は42,305台で, 前年同月比で49.3%減少, 前々年同月比50.1%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

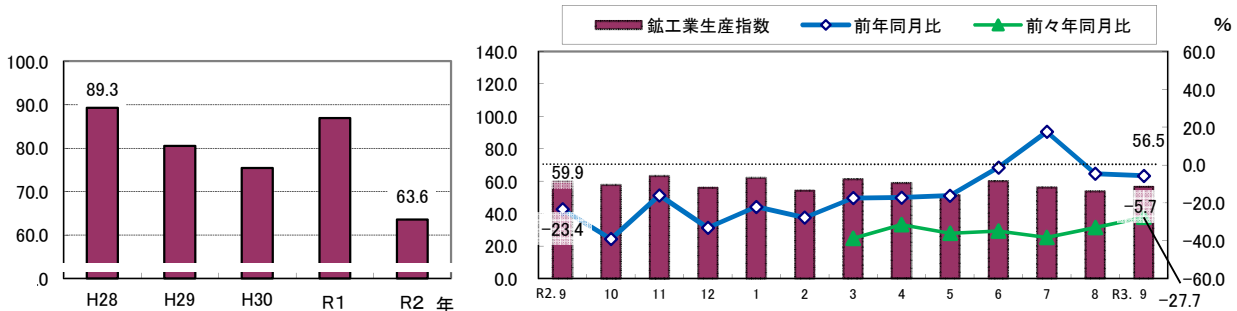


### 3 造船(令和3年9月)

9月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は56.5で, 前年同月比で5.7%減少, 前々年同月比27.7%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

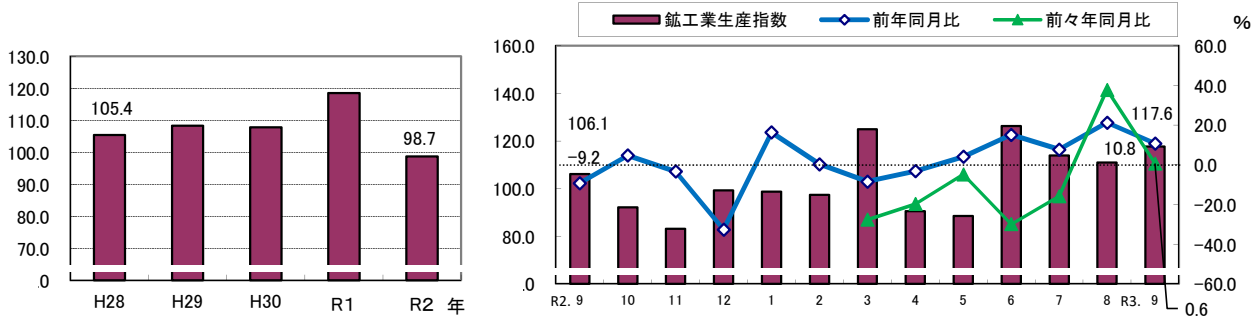


#### 4 一般機械(令和3年9月)

9月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は117.6で, 前年同月比で10.8%増加, 前々年同月比0.6%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

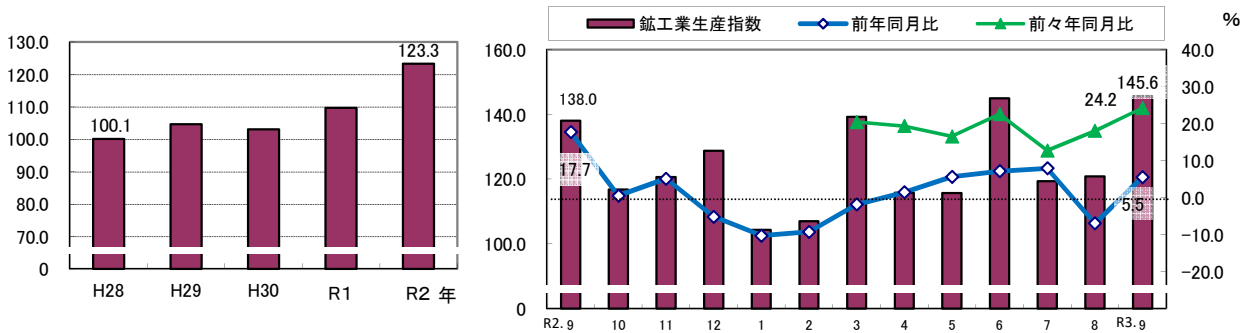


#### 5 電気機械(令和3年9月)

9月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は145.6で, 前年同月比で5.5%増加, 前々年同月比24.2%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



### Ⅲ 中小企業の動向(令和3年9月)

【広島県中小企業団体中央会（令和3年10月15日時点）】

#### 1 概況

全体的には、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令の影響を受け、景気は横ばい傾向である。海外のロックダウンにより、石油等エネルギーの高騰とともに原材料の不足や価格上昇で生産が遅れるといった影響が業種をまたいで顕著に見られる。また、半導体の不足、自動車の減産による影響も様々な業種で見られる。依然として、先行き不透明感が強く、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比32.2%減少と3ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同50.0%減少と4ヶ月連続の前年割れとなり、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比10.0%減少と2ヶ月連続で前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比7.5%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比25.5%増加となった。ウッドショックの影響で木材の品薄と価格高騰が依然続いているが、国産材への代替を含めほぼ調達出来る状況となっておりプレカットも堅調な稼働が続いている。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

#### 2 景況感・景況感の変化

業種	8月の景況感	9月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや好況	やや好況
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	悪い	悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	8月の景況感	9月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位・業種)

景況感	8月	9月	増減
好況	0	0	0
やや好況	2	2	0
普通	2	2	0
やや悪い	12	12	0
悪い	4	4	0

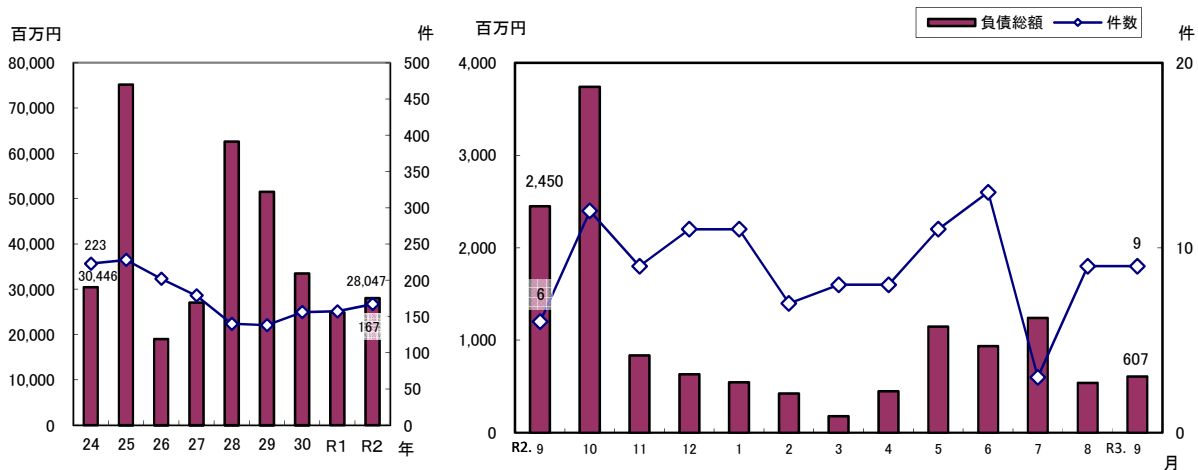
## IV 企業倒産状況(令和3年9月)

### 1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が9件、総額6億700万円であった。
- ・前月比で件数は増減なく、負債総額は7,000万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は3件増加し、負債総額は18億4,300万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

区 分	令和3年7月	令和3年8月	令和3年9月
件 数 (前年同月比)	3件 (84.2%減)	9件 (18.2%減)	9件 (50.0%増)
負債総額 (前年同月比)	1,239百万円 (46.8%減)	537百万円 (54.7%減)	607百万円 (75.2%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



### 2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、建設業3件、製造業・サービス業が各1件となった。負債総額では、建設業、卸・小売・飲食業、製造・サービス業の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が8件、放漫経営が1件であった。

### 4 今後の見通し

令和3年9月度の倒産件数は4ヵ月ぶりに前年同月を上回ったが、令和3年度上半期(令和3年4月～9月)の件数は53件で前年比31件減(令和2年度上半期84件)となり、コロナ関連の資金繰り支援策が効果を持続している。一方、新型コロナウイルス関連倒産の県内倒産は9月にも4件発生、令和2年9月以降12ヵ月連続発生して累計で51件(準備中、負債総額1,000万円未満を除く)と倒産に占めるコロナ関連倒産の割合は高まっており、長引くコロナ禍で体力を疲弊した企業の脱落も目立ってきた。新型コロナウイルス感染拡大の第5波によって発令されていた緊急事態宣言も9月末を以って全国で解除されたことに加えて、ワクチンの接種率も高まってきており、経済活動の活発化やこれまで自粛していた反動のリベンジ消費によって景況感の回復も見込まれる。また、30年ぶりに広島選出の岸田新首相が誕生し、新内閣による経済対策など期待感が高まっている。

しかし、広島県においても最低賃金は改定されて899円と28円アップした他、木材や鋼材、燃料価格の高騰が続くだけでなく、食品でも値上げするものも出てきており、一般家計へも影響が広がっている。厳しい経済環境が続く中で過剰債務を抱えた企業も多くなっているが、前述のとおり、様々なモノの価格上昇がさらにダメージを与えることが懸念される。長期化する新型コロナの影響は多方面に広がって一変した経済環境への対応が必要不可欠であるが、深刻な影響を受けている先や過剰な債務を抱えている企業で業績回復の遅れた企業では資金調達も容易ではないことが予測され、今後、息切れ型倒産が押し上げる形で倒産件数が増加していく可能性が高まっている。

【(株)東京商工リサーチ(10月15日時点)】

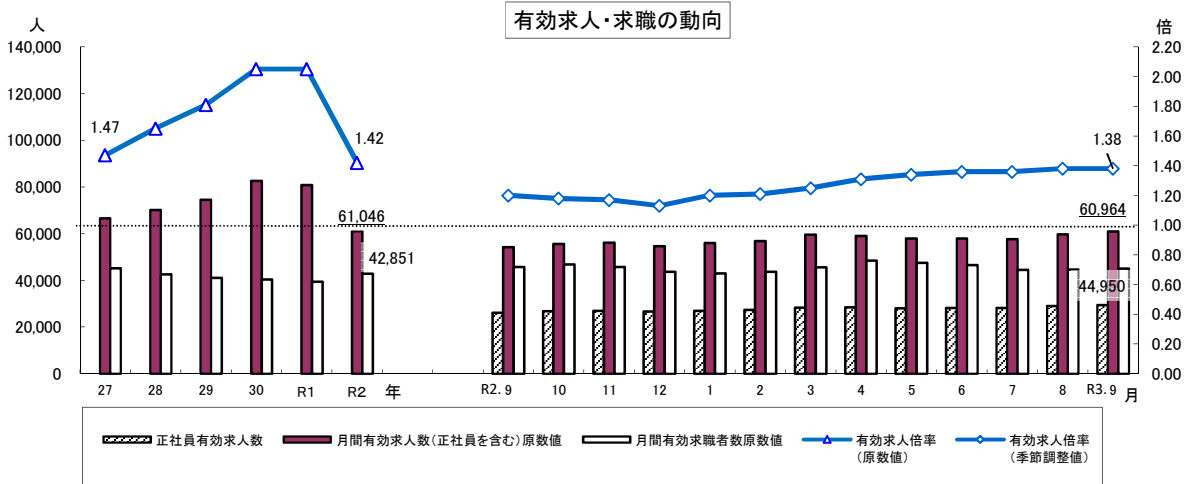


# V 最近の雇用失業情勢(令和3年8月)

## 1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年7月	令和3年8月	令和3年9月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.36倍 (±0.00ポイント)	1.38倍 (+0.02ポイント)	1.38倍 (±0.00ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.07倍 (+0.10ポイント)	1.09倍 (+0.16ポイント)	1.09倍 (+0.15ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

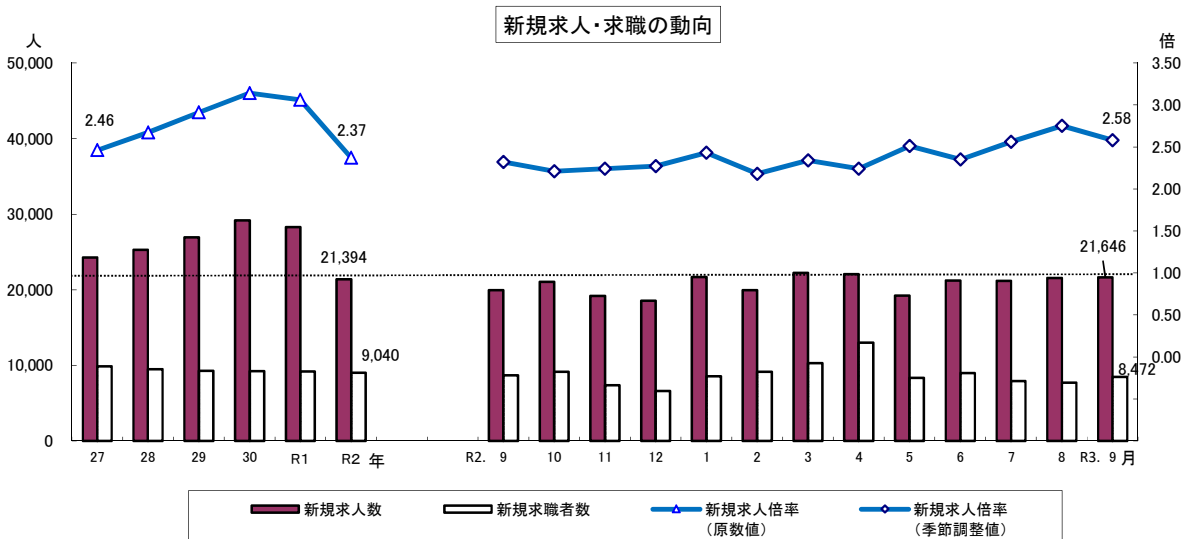
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)(令和3年度)

## 2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年7月	令和3年8月	令和3年9月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.56倍 (+0.21ポイント)	2.75倍 (+0.19ポイント)	2.58倍 (▲0.17ポイント)

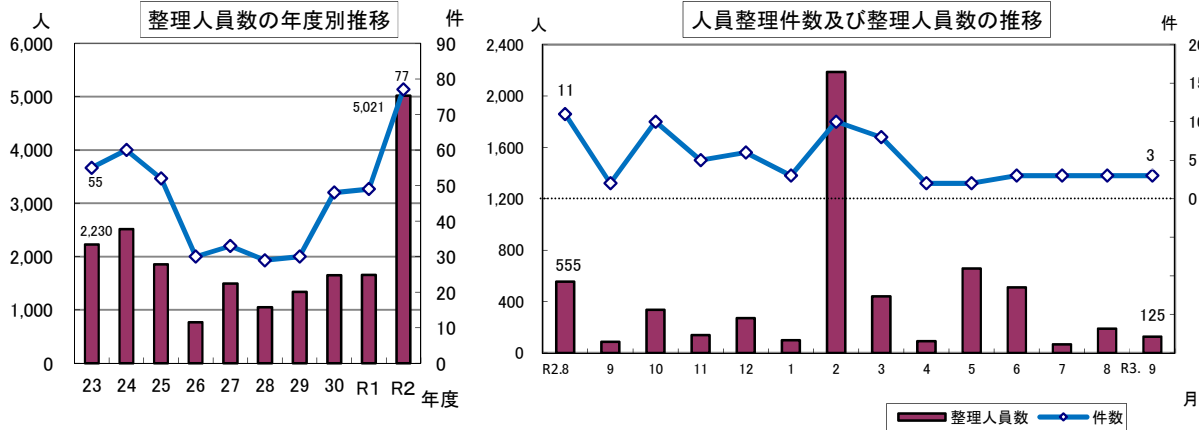
【広島労働局】



(注) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

### 3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年7月	令和3年8月	令和3年9月
件数 (前年同月比)	3件 (± 0件)	3件 (▲ 8件)	3件 (+ 1件)
整理人員 (前年同月比)	66人 (▲ 27人)	188人 (▲ 367人)	125人 (+ 38人)



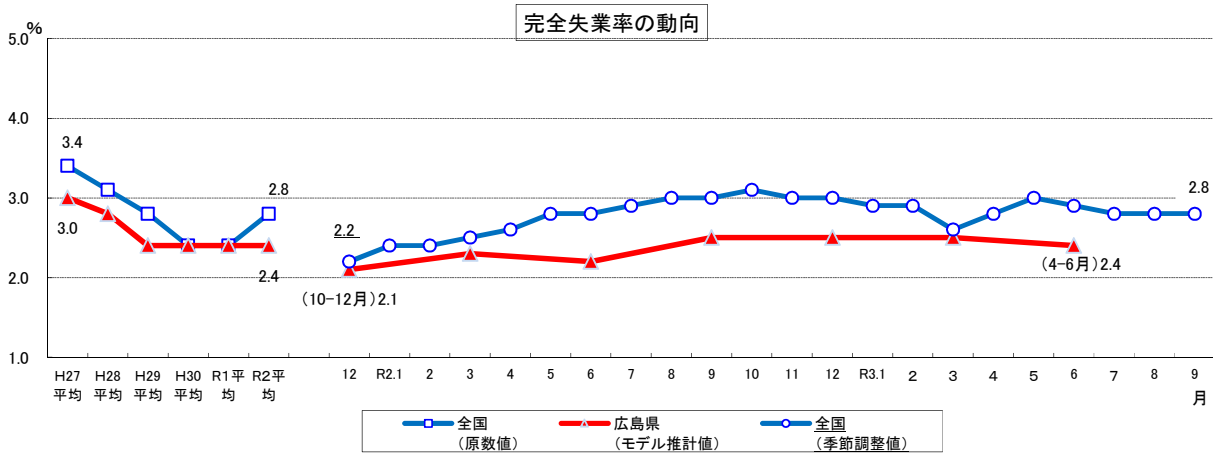
### 4 完全失業率の状況

区 分	令和3年7月	令和3年8月	令和3年9月
全国完全失業者数 (前年同月比)	191万人 (▲6万人)	193万人 (▲13万人)	192万人 (▲18万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.8% (▲0.1%)	2.8% (± 0%)	2.8% (± 0%)

区 分	令和2年	令和3年	
	10~12月期平均	1~3月平均	4~6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.5% (+0.3%)	2.5% (+0.2%)	2.4% (±0.0%)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。